

ひまわり通信

15 平成 17 年 11 月 18 日
東青山小学校
児童数 653 人
(231)9611 fax (231)9623

いのち輝く子ども



<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

心の栄養素を充電中

14 日から読書旬間が始まりました。当校では、朝読書の実施をグランドデザインで示すなど、読書活動に力を入れております。週 3 回の朝読書や毎週金曜日の読み聞かせ会など年間を通して計画的に実施していますが、今週から 2 週間、読書に対する興味関心を高め、進んで読書に親しむ態度を育てようと、図書委員会と一緒に下記のような様々な活動に取り組んでいます。

14 日には、校長による特別放送が計画されており、どんな内容にするか思案しました。読書に関する一般的な話をして児童の心に響かないのではないかと思い、地域に伝わる昔話を探す事にしました。ふと、「ふるさと坂井輪」第二集（坂井輪地域学研究会）を読んでいたところ、そこに「青山狐」の話が載っていたので、これだと思い早速司書の大家先生から本を紹介してもらいました。紹介してもらったのは「にいがたの伝説」という本です。内容は、赤沙日（旧巻町の赤縮）の庄屋の藤次右衛門が青山を通りがかったところ狐に化かされ、人々に笑われたというお話です。これを、昼の放送で読み聞かせをしながら読書に関する話をしました。

その日の内に、早速反応がありました。4 年生の児童が数人話しかけてきたのです。「青山って、ここの青山のこと？」「青山稲荷って知ってるよ。そのこと？」などなど。反応の早さもさることながら、昼の放送をきちんと聞いていたことがうれしくなりました。この本を坂井輪図書館から借りてきたことや、この地域には、まだまだたくさんの昔話があることなどを話しました。



< 朝読書の様子 >

読書旬間の取組

- 1 毎日の 15 分間朝読書
- 2 絵本の読み聞かせ
- 3 感想画・一口感想文の紹介
- 4 特別放送
- 5 ポスターの掲示
- 6 ブックワールド（図書委員会）の活動
 - ・ ポスターづくり
 - ・ 4 冊貸し出し券
 - ・ しおり作成
 - ・ 表彰（青色カード終了者）
 - ・ 読書クイズ

なぜ本を読むのでしょうか。いろいろと答えはあると思います。私たちは、自分で経験したことは一人分でしかありません。しかし、たくさんの本を読むことは、たくさんの人の経験や考え方を自分のものとすることができます。本を読み、いろいろなことを知ることは、その人の人生を豊かなものにしてくれます。読書は考える力や創造する力の基となるものです。この機会にたくさんの本を読んでくれることを願ってやみません。

文化祭の様子



< 学年代表による作品紹介 >



< 引率参観の様子 >



< 体験コーナー（PTA 学年部） >



< 作品展示室 >

たくさんの賞をいただきました

第 47 回新潟県よい歯の学校運動
優秀賞 東青山小学校

第 56 回新潟県学校器楽合奏大会
新潟市教育委員会賞

「わたしの住むまち」絵のコンクール
銀賞 5 年 渡邊
銅賞 3 年 岡地
入選 5 年 五十嵐

お願い

寒くなり、欠席の電話が始業時に集中し、対応に追われています。

そこで、お子さんの欠席の連絡については、原則として連絡帳を利用してくださいようお願いいたします。やむを得ない場合や緊急の場合は電話でも結構です。

ご協力をお願いいたします。